

SMTに年休問題で申し入れ！！

大井基地で働くみなさん！ 寒中お見舞い申し上げます！

JR東海労新幹線地本は昨日、SMT会社に対して、年休がほとんど入らない状態を改善するよう要求し団体交渉の開催を申し入れました。

年休は取りたいときに取れてこそ本来の年休です。会社は発給するためにあらゆる努力をすべきものです。ましてや冠婚葬祭や通院などは社会通念上優先されるべきです。また、そのために社員同士がお互いさまで変番にも応じているというのがどこの会社でも普通のことです。

しかし、SMT会社では現在この年休が「抽選」オンリーで処理され、葬儀に出席するために休みたいと言っても認められません。このような会社対応に誰もが「おかしい！」と口をそろえています。

SMT会社は対応を改めると共に年休が完全消化できる要員を確保するべきです。

冠婚葬祭や通院などは優先して年休発給するべきです！

申し入れた要求の一部

- 年休が完全消化できる要員を確保すること
- 抽選結果だけによる年休発給を廃止すること。
- 年休発給について、冠婚葬祭・通院など社会常識に基づく事情を考慮すること。
- 抽選による年休早期申し込み制度を改正し、社員の年間計画による長期休暇制度を導入すること。
- 社会通念上の事由による勤務変更ができるものとする。また、このことによる皆勤手当の支給停止はしないこと。

赤字のリニア建設のしわよせを 社員に押し付けるな！

JR東海のリニア中央新幹線計画が進行しています。2014 年度中には着工が予定されています。

東京～名古屋間だけで5.1兆円という大プロジェクトです。だがしかしJR東海は1991年の東海道新幹線買い取りの借金がまだ3兆円以上も残っているのです。総額8兆円を上回る借金をしてリニアをつくって、JR東海会社は成り立っていくのでしょうか？私たち東海労は会社に何度も懸念を表明してきましたが会社からは回答はありません。

「リニアは赤字」JR東海社長が発言

ところが昨年10月の記者会見で、JR東海山田社長は「リニアは採算がとれない」「もうからない」とおどろくべき発言を行いました。

経営の責任は経営陣にあります。赤字承知のプロジェクトを進める責任はすべて経営陣にあります。しかし実際には、リニア建設のための社員へのしわ寄せが続いています。もちろんJR関連会社の社員のみなさんに対してもです。経費節減による備品の削減、福利厚生の切り捨て、手当の削減、人減らしと年休抑制、正社員登用の削減等々。

経営陣の無責任な経営の犠牲になるのはごめんです！大井基地で働く皆さん！共に赤字必至のリニア計画と社員へのしわ寄せに反対の声をあげましょう！

ホームページアドレス
メールアドレス

<http://www.geocities.jp/jrcushinkansen2/right.html>
jrcushinkansen@yahoo.co.jp

お気軽にアクセスしてください